

第67回日本体力医学会大会のご案内（第3報）

東日本大震災から1年以上経過し、復興の声は聞かれますが、まだまだ復興には程遠いものであり、更なる支援が必要と感じております。被災者の皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。一日も早い日常の生活ができることを祈っております。

第67回日本体力医学会大会を開催すべく準備を進めています。大会に関する情報、一般研究発表の演題登録および事前登録、すべては大会ホームページ上で行っています。学会指定プログラムや一般シンポジウム・ワークショップなどは締め切らせていただきました。申し込まれた方々には感謝申し上げます。その他の内容についてもホームページ上で行いますので、ご覧ください。

記

1. 会 期：平成24年9月14日(金)、15日(土)、16日(日)
2. 会 場：長良川国際会議場、岐阜都ホテル（岐阜市）
3. 大会長：古田 善伯（放送大学岐阜学習センター長、岐阜大学名誉教授）

第67回岐阜大会ホームページ：<http://www2.convention.co.jp/tairyoku2012/>

重要なお知らせ

1. 演題応募期間

一般研究発表応募期間：平成24年4月10日(火)～平成24年5月31日(木)正午まで

多くの演題応募を心よりお待ちしております。

2. 一般研究発表について

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。第2報でもお知らせしたように本大会は、一般研究発表において、発表形式の選択を行ってください。しかし、口頭発表は決められた演題数しか発表できません。希望に添えない場合があります。ご了承をお願いします。

発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。

また、発表者は原則、筆頭演者として下さい。演題の採否、発表日時は7月上旬に電子メールならびに大会HPにてお知らせします。なお、発表日時等のご希望および変更については一切応じられませんので、ご了承ください。

発表される場合は演題登録と参加登録の両方を行ってください。

3. 参加登録及び演題登録

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録の方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。

なお、事前登録を行い、大会参加費を納入の方には、大会開催前に予稿集、参加証をお送りいたします。

1) 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員		一般	12,000円	学生	7,000円

※非会員の参加登録は当日登録のみとさせていただきます。

2) 事前登録期間

平成24年4月10日(火)～7月31日(火) 正午まで

3) 事前登録と支払い方法

事前登録はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い、登録を行って下さい。大会参加費は、オンラインでの参加登録システムにおいて、(1)クレジットカード、(2)銀行振り込み、のどちらかの方法でお支払い下さい。

※ゆうちょ銀行の払込取扱票からの振り込みはできません。

※振り込み手数料は参加者のご負担にてお願いいたします。

新しいお知らせ

1) 託児所について

学会期間中、大会会場にて託児所をご用意いたします。託児所の利用を希望される方は、事前に登録が必要となります。事前登録の会員で託児所を利用される予定の会員は事前登録時に登録することができます。詳しくは大会HPをご覧ください。

2) エクスカーションについて

大会期間中（9月14日～16日）に観光名所を回るエクスカーションをご用意いたしました。行程、費用については大会HPをご覧ください。

平成24年度日本体力医学会プロジェクト研究公募について

日本体力医学会プロジェクト研究（以下、プロジェクト研究）は、平成9（1997）年度に発足しました。日本学術会議体力科学研究連絡委員会から「日本人のための健康体力指標の標準化、及び健康増進・疾病予防のための身体活動に関する推奨・指針作成への提言」が出されたことを受けて、平成16年度からこの提言に関わるプロジェクト研究を公募して参りましたが、平成24年度の公募研究テーマが下記のごとくに決定しましたので、奮って応募いただくようご案内致します。

プロジェクト研究の全体像

- プロジェクト研究は、日本人の健康維持・増進に関連した体力及び身体活動・運動を主題とした研究であり、その成果として、社会に対して、勧告、指針などの提言がまとめられるものでなければならない。
- 平成24年度は下記のいずれかの研究テーマに関わる研究課題に限定する。
 - 特定保健指導(メタボ対策)に関する基礎的研究
 - こどもの生活習慣と健康づくりに関する研究
 - スポーツ科学(体力科学・体力医学)に関する研究
- 多施設が共同研究を行うことにより初めて成果が出るような研究プロジェクトであること。その際に各研究者の役割を明確にすることが必要である。
- プロジェクト研究の選考は学術委員会の下部組織であるプロジェクト研究委員会が行う。
- プロジェクト研究の申請は、研究代表者（評議員）と数名の発起人が、研究計画書を作成してプロジェクト研究委員会に提出する。
- プロジェクト研究委員会では提出された研究計画書を審査して、採択する研究を決定する。なお、本年度の新規採用可能件数は1～2件である。
- 採択された研究の代表者は研究計画を体力科学に掲載して、研究協力者を募集することも可能である。その場合には、研究協力者の採択は研究者と発起人に一任する。また、プロジェクト研究委員会が必要と認める場合には、他の研究者を指名して加えることもできる。
- プロジェクト研究委員会は研究計画に基づき研究費

を配分する。研究費は主に調査や資料の収集などに当てるものとする。年間およそ100万円程度を限度として配分する。プロジェクト研究の研究成果は3年以内でまとめ、(1)プロジェクト研究委員会の審査を経て、理事会の承認を得て、(2)「体力科学」および日本体力医学会大会において公表する。（注：学会の公式見解とするかどうかは、理事会で審議する）

プロジェクト研究に応募される方は、研究代表者（評議員に限る）と数名の発起人が、以下の項目に沿って研究計画書をA4版にワードプロセッサで書き、平成24年4月30日までに下記の提出先にお送りください（電子メールによる提出も可）。研究計画の採否は追って、研究代表者に通知します。

研究計画書

- 研究代表者名（署名捺印してください）、所属部署・所属大学など、住所、最終学歴（卒業大学または修了大学）と年月日、学位の有無、連絡先の住所、電話、ファックス、電子メールアドレス
- 研究発起人名、所属部署・大学、最終学歴（卒業大学または修了大学）と年月日
- 研究課題
- 研究目的（200字以内）
- 研究期間（3年以内）
- 研究計画（200字以内）
- 研究方法（400字以内）
- 期待される研究成果（200字以内で具体的に、例、ガイドライン）
- 研究費の使途（会合費、通信費、印刷代などの費目）に分けて概算を出してください
- この研究に関するこれまでの成果（原著、著書などの研究業績）を番号をふって書いてください

提出先 大野 誠

日本体力医学会プロジェクト研究委員会委員長
〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
日本体育大学大学院 健康科学・スポーツ医科学系
TEL：03-5706-0814 FAX：03-5706-0814
E-mail：m_ohno@nittai.ac.jp

第23回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。救急救命法、健常者や生活習慣病罹患患者に対する運動処方、筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です。メタボリックシンドローム危険因子保持者などを対象とした運動指導等であり、アスリート対象ではありませんのでご注意ください。

尚、平成23年度より新たな講師陣を加え、1) 喫煙や環境汚染および加齢による慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)の運動による改善効果の機序や運動処方、2) 降圧剤など薬物治療受診者の運動指導の適否、配慮すべき事項など、3) 機能的食品と運動療法併用によるメタボリックシンドローム危険因子改善効果など、4) 体組成とくに内臓脂肪の意義およびその測定実習、などの内容を加えました。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会の会員でない方も参加できます。また、他の研修会を受講し資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。尚、実習を行う関係上、各年度の募集人数に制限がありますことをご了解ください。

平成23年12月1日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会
鈴木政登 碓井外幸 太田 真 中島幸則

1. 会 場

会場は東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室などです。

2. 日時および研修カリキュラム

(I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項については既に習得されていることを前程にさらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や生化学、栄養学および運動処方基礎などを中心に学びます。ここで学んだことを基盤として、(II) 応用コースへと進みます。

平成24年

7月6日(金)

9:00～10:30 運動と神経・筋
10:40～12:10 運動と呼吸
12:10～13:10 昼休み
13:10～14:40 運動と代謝（水・電解質およびエネルギー代謝）
14:50～16:20 運動と栄養
16:30～18:00 運動と循環
18:00～ 懇親会（会費3000円、参加自由）

7月7日(土)

9:00～10:30 運動処方の基礎
10:40～12:10 生活習慣病の運動処方（肥満・糖尿病・高脂血症）
12:10～13:10 昼休み
13:10～17:00 救急救命実習（人体模型を用いた実習）

(II) 応用コース

このコースの講義では、有疾患または薬物治療中の場合の運動適用の可否や運動指導の実際について学びます。実習では、自転車エルゴメータによる運動負荷試験を行い、それと関連した血液・尿検査結果データを参考に運動処方を作成する。さらに、高齢者や喫煙習慣保持者の健康を脅かす慢性閉塞性呼吸器疾患を反映する呼吸機能検査、糖尿病性腎症等の腎機能異常の有無を知る尿検査、およびメタボリックシンドローム罹患の上流因子として重要な内臓脂肪蓄積状態を知る体脂肪測定法などを実習します。その他に、テーピングや筋力トレーニング実習なども行われます。

8月3日(金)

9:00～10:30 高血圧症およびその他の循環器疾患の運動処方
10:40～12:10 運動器疾患の運動処方
12:10～13:10 昼休み
13:10～17:00 運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験、心電図記録、呼吸機能検査、尿検査、体組成測定実習）

8月4日(土)

9:00～12:00 運動処方の作成（前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し、実施させる）
12:00～13:00 昼休み
13:00～17:00 テーピングおよび筋力トレーニング実習

8月5日(日)

10:00～12:00 修了試験

注意：講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので、ご了承下さい。

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格

者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を取得することができます。

修了試験は平成24年8月5日(日)10:00~12:00に東京慈恵会医科大学で行います。

4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。

5. 受講料

受講料は（Ⅰ）基礎コース、（Ⅱ）応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース（基礎コース、応用コースの各コースを単独受講）を受講する場合はそれぞれ25,000円（2日間コース）です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円（基礎・応用コース）と致します。ただし、学生証の呈示が必要です。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、日本体力医学会“健康科学アドバイザー”の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士、実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんのであらかじめご了承下さい。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-18 小石川アーバン4F
 一般社団法人 学会支援機構内
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係
 電話：03-5981-6011 FAX：03-5981-6012
 E-mail：jspfsm@asas.or.jp

第23回 日本体力医学会スポーツ医学研修会 仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申します。（該当する□にレ印をつけてください。）

- 第23回基礎コース
- 第23回応用コース
- 試験

氏 名

連絡先 〒 -

TEL :

FAX :

第21回日本体力医学会東北地方会のご案内

日 時：平成24年6月16日(土)

場 所：仙台大学

参加および演題原稿締め切り：5月18日(金)

大会事務局：高橋弘彦(仙台大学)

〒989-1693

宮城県柴田郡柴田町船岡南二丁目2番18号

Phone & Fax : 0224-55-3002

E-mail : hr-takahashi@sendai-u.ac.jp

理事会は大会前日6月15日(金)夕刻より実施予定です。

*事務局よりお願い

多数のメールが「宛先不明」で返ってきます。

「体力医学会の会員だけドメールが来ない」という方が周囲にいらっしゃいましたら、事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

東北地方会事務局：

安田俊広(福島大学人間発達文化学類)

〒960-1296 福島市金谷川1

Phone & Fax : 024-548-8209

E-mail : yasuda@educ.fukushima-u.ac.jp

第6回 NPO法人日本スポーツ栄養研究会 総会・学術集会

期 間 平成24年7月6日(金)～8日(日)

会 場 いわて県民情報交流センター(アイーナ)
岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1

テ ー マ 運動する子どもの食の大切さを考える
- 発育・発達の視点から 復興に向けて -

内 容

会長講演「ジュニアアスリートの発掘育成事業に携わって」

教育講演「シリーズ 競技を知る(ホッケー)」
「子どもの食の大切さを考える - 発育・発達の視点から -」

シンポジウム「ジュニアアスリートの発掘・育成事業の現状」
「成長期の子どもの発育と発達 - 身体・脳・心を評価する -」

参加費

日本スポーツ栄養研究会正会員 7,500円/

学生会員 3,500円/非会員 10,000円(学生 5,500円)

問合せ先

第6回大会事務局 青森県立保健大学

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬58-1

TEL 017-765-2105

申込方法

事前参加申込は、研究会ホームページ

<http://www.jsna.org/>よりお申込み下さい。

申込期間 3月15日(木)から5月27日(日)まで

単位認定 財団法人 健康・体力づくり事業財団

健康運動指導士 登録更新・・・全日程参加にて単位認定(予定)

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団「第24回助成研究発表会」および「ソルト・サイエンス・シンポジウム2012」の開催について

○第24回助成研究発表会

・開催期日 平成24年7月18日(水)

・開催場所 都市センターホテル(東京都千代田区平河町)

・参加料は無料。参加希望者は財団にファックス・メール等で事前に申込。

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団

Fax : 03-3497-5712 Tel : 03-3497-5711

E-mail : saltscience@saltscience.or.jp

○ソルト・サイエンス シンポジウム2012

1. 開催概要

1) 開催趣旨 塩に関する学術、その他の情報普及と啓発

2) 開催日時 平成24年10月30日(火)13:00～16:40

3) 開催場所 東京都新宿区西早稲田
早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール

4) 参加料 無料
参加の申込みはファックスまたはメール等で事前に申込

Fax : 03-3497-5712 Tel : 03-3497-5711

E-mail : saltscience@saltscience.or.jp

2. テーマと講演内容

1) テーマ 海水・塩の科学

2) 講演内容

(1) 海水・塩水・さび(13:10～14:10)

- 塩分があると金属はどうしてさびやすいのか? -

講演者：井上 博之 大阪府立大学大学院講師

座長：柘植 秀樹 慶應義塾大学名誉教授

(2) 魚類の体液調節のしくみ(14:10～15:10)

講演者：竹井 祥郎 東京大学大気海洋研究所教授

座長：今井 正 自治医科大学名誉教授

(3) 海水から生まれる新エネルギー通貨マグネシウム(15:30～16:30)

- 地球を救う循環型エネルギー社会構想 -

講演者：矢部 孝 東京工業大学大学院教授

座長：合田 康秀 (株)日本塩工業会技術委員会委員長

詳細については、財団のウェブサイトをご覧ください。

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団

(<http://www.saltscience.or.jp>)

第155回日本体力医学会関東地方会のご案内

開催日：平成24年7月7日(土) 13:00より(予定)

会場：横浜薬科大学(横浜市戸塚区俣野町601)

最寄り駅：戸塚駅、大船駅、湘南台駅より俣野公園・横浜薬大前行、またはドリームハイツ行バスで約20分(俣野公園・横浜薬大前下車)
(<http://www.hamayaku.jp/>)

当番幹事：八田有洋(横浜薬科大学・健康薬学科・運動生理)

TEL：045-859-1300(内線7007)

E-mail：a.hatta@hamayaku.ac.jp

【予定プログラム】

1. 特別講演

座長：西平 賀昭(筑波大学体育系)

演題：『高齢者におけるレジスタンス運動が心血管系に及ぼす効果(仮)』

演者：鯉坂 隆一(筑波大学体育系)

2. シンポジウム

テーマ『最新・高齢者の介護予防運動と評価法(仮)』

座長：大藏 倫博(筑波大学体育系)

1) 転倒予防と膝痛予防

金 憲経(東京都健康長寿医療センター研究所)

2) 筋力トレーニングによる認知症予防

本山 輝幸(総合能力研究所)

3) 地域に根づく新介護予防運動の普及と波及効果

大藏 倫博(筑波大学体育系)

4) 体力と認知機能の関連

尹 智暎(筑波大学体育系)

3. 一般研究発表(口演のみ)

【一般研究演題の申込要領】

演題題目、発表者名および共同演者名とその所属、口演要旨(400字程度)、連絡先(氏名、所属先、郵便番号、住所、電話およびファクス番号、E-mailアドレス)を下記のメールアドレス宛にお送りください。

※E-mailで添付ファイル(ワードファイル)にて送信

※一般研究演題の締め切り予定：平成24年6月1日(予定)

送り先：

〒245-0066 横浜市戸塚区俣野町601

横浜薬科大学健康薬学科 八田 有洋

E-mail：a.hatta@hamayaku.ac.jp

編 集 後 記

ファーストフードほど、早くて安く簡単に空腹を満たしてくれる食べ物はありません。日本はもとより世界中のおもな都市ではすぐにファーストフード店は見つかるし、いつでも、どこでも安く簡単に利用できます。経済性を重要視する米国人が作り上げた食スタイルですが、大きなコップのコーラを片手にして食べている姿をみると、まさに米国人の34%に肥満がみられる背景がわかるような気がします。しかし肥満の原因がハンバーガーのためとして食品業界を訴えるところは、肥満も人のせいにしてしまうアメリカとして、これを防止するために通称“ハンバーガー法案”を成立させてしまうところもさらにアメリカ的と驚いてしまいます。

2010年に我が国の厚生労働省がまとめた国民健康栄養調査では、世帯の年間所得額と「体型」「食事」「運動の継続」が関係することが報告されています。即ち、所得の低い群ほど、肥満体型がおおく、野菜の摂取量が少なく、運動していないという結果がでています。健康食品はもちろん食事にはお金がかかることは分かりますが、運動を継続することにも、体型を保つことにもお金が関係してくるようです。従来、わが国ではスポーツは学校体育を中心に運動するのも無償、運動指導をするのもボランティアで行われてきました。小生ごとですが、20年ほど前にテニスクラブに入会し、日曜日の午前中は運動するように努めています。会費を払っていると、休んだ

日は代わりの日に振り替えてテニスを致します。これには“もったいない”という大阪人のあさましい金銭勘定が少なからず含まれていますが、これが運動継続に繋がっています。

2011年に、日本、欧米、中国など12カ国の1万5千人を対象にした「ヘルスバロメーター 2011」の調査では、健康状態にかかわる要因は、運動を含むライフスタイルが56%、栄養が55%であり、それを支える要因は社会・環境や医療制度よりは自分自身の意識が大切であることが報告されています。いずれにしても体力・健康を維持するためには、運動と食事スタイルを是正するという自覚を持ち、それを“継続”することが必要ですが、その支えとしての費用も大切なのでしょう。

後になりましたが、体力科学の学会誌には、多くの健康・体力に関する論文が投稿されます。本学会の主目的は、体力を介して健康を維持し、質の高い文化的な生活を“継続すること”になります。この目標にむけて、体力科学の論文が人間の健康的な生活の一役を担えることを希望いたします。体力科学の61巻2号をお届けいたします。本号では、総説1編、原著論文10編と資料2編が掲載されています。各大学・施設の先生方の研究が継続され、益々発展することを願ひまして、編集後記に致します。

藤本 繁夫

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.61, No.2

体 力 科 学 第 61 卷 第 2 号

平成 24 年 3 月 25 日 印 刷

平成 24 年 4 月 1 日 発 行

編 集 兼 発 行 者

鈴 木 政 登

発 行 所

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階

一般社団法人 学会支援機構

日本体力医学会

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社内

「体力科学」編集事務局

TEL・FAX(共通) 0235-22-3120

E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社